

四 売薬得意買請につき約定書

明治二十三年

約定書

一 今般私シ義貴殿ノ營業ノ売薬得意御所町吉川弥二郎ヨリ買請候ニ付、一切ノ袋等ニ㊦ノ印付ヲ附行商仕候、
 ㊦印ノ薬品ノ代価情求致シ、且亦㊦印ノ置タル得意江決而新規置合等決而致シ間敷候、若亦置合差合等仕候節ハ何ヶ様ノ御所分被成下候トモ後日苦情申間敷候、
 該買請ノ得意ヨリ他江行商決而致シ間敷候事
 一 売薬御規則相守リ、決而不正之商業致シ間敷候

行商鑑札番号左ニ

一 第九七号 一 第九九号 一 第一〇一号 米田松二郎
 一 第九八号 一 第一〇〇号 一 第一〇二号 米田豊吉
 右行商鑑札御下付相成正ニ請受候ニ付行商鑑札御入用ノ節ハ何時ニテモ持参仕候也

大和高市郡今井町大字今井

第貳百五十三番地

明治貳拾三年三月廿六日 米田松式郎 ㊦

大和国葛上郡葛村大字今住

売薬營業人

中島太兵衛殿

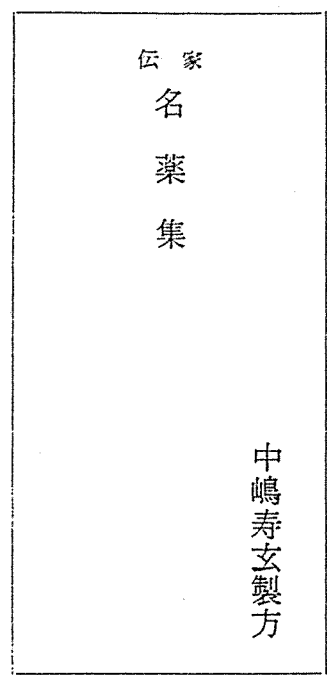
四 中嶋家文書

(中嶋寿玄氏蔵)

一 家伝名薬集

寛政七年

(表紙)



寛政七歳

卯二月廿二日

薬屋

忠兵衛 (花押)

(後筆) 「ナカシマテンキチ」

志々く里之妙薬

竹茹 (麥カ) 坊根 (橘カ) 桔皮 柿之ヘタ

右四味等分合常之通煎じ用テ吉

痰コフトレル妙薬

山岸ニアリ麻ヲ葉土用シ内ニ取隠干致シ常之モグサ之通

ニ致其痰之中ニスヘテ妙薬

其痰水ハシル事妙薬也

口中婦くミ薬

黄蓮 卷目

黄柏 五兩

紅花 卷目五分

右三味細末ニ志テ

モミノキレニツ、ミ婦くむへし

但シ目洗ニモよし

和中散老細

白朮 百式拾目

陳皮 百式十目

茴香 六拾目

2 古文書

宿砂 六拾目

ウコン 六拾目

甘草 式拾四目

香付子 百式拾目

右細末ニシテ用湯

チ多キ妙薬

川芎 当帰 (当カ) 赤薬

地黄 チカ

桔梗 茯苓 柴

胡 枳朮 蓮翹 破胡紙 (マ、)

右等分甘草少し十一味常之通煎じ用イ

子ニコリカタマリ妙薬

白ムクケノ花隠干ニシテ

右老味粉ニシテ

酢ニテトキツケテ妙薬也

瘡薬

瘡薬 ノンドフサカリ候時

黄柏 五兩

乙切そう

赤トンボ トリヲキ

はら根 卷奴

イタンそり

右黒ヤキニシテ

右二味細末ニテ

甘草少し

カタ中ニイレ

胡麻油ニテトキ

カケン

水ニテフキコム妙薬也

付テよし

紅花少し

ケイカイ少し

但シきすニもよし

右五味也

懐気円

陳皮 十目 吉更 廿 茯苓 廿 香付子

十五 干姜 十五 甘草^{カワ} 十五 人参^{黄精コト也} 十

白朮 十 川芎 九

ワキガ薬

一ラシロイ粉 四匁

一天花粉 二匁

一葛粉 二匁

一明礬^{ヤキ} 八分

一丹バン 八分

右五味也

右薬之義第一ワキガタミレカブレニ大妙薬也

○小児

腹イタムニ大妙薬

一大黄 黄連 甘草

一紅花 右等分

一麝香 二厘五毛

右薬者張ニして代五匁売

インキンカフレ妙薬

一茵陳 一丹バン各四匁

右二味ヨク粉ニしてキ醬油ニてトキツケルナリ

コニクチニ大トクナリ

アト産ヲリヌ大妙薬

一ヒマシ コレヲツブシ、飯ニて予リ食、足ノ裏ヘ紙ニノバシハルナリ、コレニ安泰湯ニ二フクノマスナリ

唐胡麻ノミナリ

女ノ子ナレハ右之足ヘツケル 男ナレハ左ヘツケル

ナリ

魚類アテラレタル大妙薬

一山査子 人ニツカウトキ七ツボホド蒸し用ゆナリシ

カンドモ吉

○メ

ヒゼンクスベ薬

一ウワウ 四十五匁

一ユワウ 四匁 一コセウ 三匁

一タ土 同

一石カウ 四匁

2 古文書

- 一 沈香 卷匁七分
- 一 エンシヨ 二匁
- 一 セウノウ 二匁五分
- 右ヤケンニテ粉ニする也
- セキノ大妙薬
- 一 広東 卷匁
- 一 クルミ身 同 右三味大妙薬
- 一 杏仁 同
- 口中フクミ薬 目あらいにもよし
- 一 黄連 卷匁
- 一 黄柏 同
- 一 紅花 卷匁五分
- 木香丸 右粉ニしてもミのキレニツ、ミフクムナリ
- 一 蒼朮 三十二匁
- 一 厚朴 二十目
- 一 陳皮 同

生ハ火バチニモクサウ入、
ミゾヲツケ、其ミゾヘコウヲ入、
コグチヨリ火ヲツケクスベルナリ

- 一 莪朮 十六匁
 - 一 三稜 同
 - 一 甘草 十二匁 見合少
 - 一 コワウレン 見合
 - 一 生姜 同
 - 一 鉄砂 一匁 其品々つかふ(一カワラケニ入テスウニていり又アゲテ粉ニしてよし)
 - 一 ろうは 一匁 白水ニつけ一夜とり上ケホシテキサミヨク
 - 一 さう朮 一匁 生がのしるニつけいりてつかふ
 - 一 厚朴 一匁 古ルキかよし
 - 一 陳皮 一匁 いらてつかふ
 - 一 神キク 一匁 かわをさり
 - 一 甘草 一匁
- 黒手のさび之毒
- 右七味粉ニしてすのりニて丸そ五十つぼづゝ一度ニ用ゆ乃ミ、しるへうすきめしのゆうニて用ゆ、めし後ニばかり用ゆ

口中一切第一むしばいたミ共によし
どくたね 一そばね 一志かるい
一あぶらけ

- 一 白ぼん 耆奴
- 一 生のふ 耆奴
- 一 乳香 耆奴
- 一 モツやく 耆奴 大妙薬
- 一 甘草 耆奴

第一いたミはのねニすりこんでよし

ビワヤウ湯

- 一 ヒワヤウ 大
 - 一 呉朱更 中
 - 一 木香 中
 - 一 肉ケイ 中
 - 一 甘草 中
 - 一 藿香 中
 - 一 莪朮 中 耆張ニ付代耆奴
- 右ふり出し仕用
 はやくすり
 一 当帰

一 地黄

一 はこし

一 大服皮

一 肉圭

一 甘草

右六ミ □ □

ア印

- 一 当帰 十カ奴 大々 △細ヒゲヲサリ製す也
- 一 川芎 十奴 上々 △皮ヲサリ切、水モ火モ、但シむし
- 一 蒼朮 千奴 大々 大白 △同サリ切テ水ニツケテよし
- 一 干姜 千奴 大々 △皮ヲサリ肉バカリ用、水ニツケテよし
- 一 大黄 三奴 唐 △皮ヲサリ山咲色
- 一 黄芩 一奴 唐 △皮ヲサリ山咲色
- 一 黄連 同 唐 △磨大ニ用
- 一 肉圭 同 東京 △薄モノヨク皮ヲサリシン斗
- 一 圭辛 同 厚ク所 △辛味吉、裏サ、ラニカケ
- 一 白朮 同 厚ク所 △コレハスイブン、厚ク所皮ヲサリサ、ラニカケ
- 一 甘草 三奴 色吉 △水ニツケテ吉、皮ヲサリ太白ヲ用ゆ
- 一 甘草 三奴 色吉 △皮ヲサ随分、色吉

2 古文書

小 一人参 一匁 △ホソク所、チリヲヨクヨル ヨク
 唐 一木香 同 △皮ヲナル白ク所味 イム
 太白 一川骨 同テト △ハサクヤロコイ所用 ヨク
△皆々仕上随分吟味大極上
 △壳様ハ正味カ匁千分カケ代十匁テトニ壳ナリ
 (句) 御旬ヒ掛香御次第
 唐 一茴香 一丁字 龍腦
 一三奈 一白檀 麝香
 一甘奈 一三奈 甘奈
 一白檀 一藿香 沈香
 一丁字 一茴香 木香
 唐 一クワツコウ
 口中アレ薬
 甘草 半夏 きんかんの葉
 ハツか
 右せんしふくミてよし
 活寿丹
 一当帰 十匁 老匁也 △ヨクカケル

一麻黄 同 △フシヲサリ
 一河首馬 同 △七度子ツトスル
 一荊芥 同 △少シカケル
 一防風 同 △イム
 一甘草 同 △少シカケル
 一石解(斛) 同 △イム
 一天麻 同 △イム
 一川芎 同テト △イム
 一白朮 一匁 四 △イム
 一蒼朮 同 △水ニつけカワヲトリ
△スグニキサムナリ、ナマナリ
 一草ウヅ 同 △ヨクアライミガキテ
△ムシヤキニしてスクキ間ニ切ナリ
 一川ウヅ 同 △同断
 十三味
 頭痛カタツカヘ妙薬
 一石膏 等分
 一川芎 同
 一香付子 同
 一羌活 同

一 蒼朮 同

一 陳皮 同

一 紫ソウ 同

右等分

風セキ

一 蒼朮 一 宿砂 一 肉圭 一 厚朴 一 甘草

一 陳皮 一 干姜 妙薬也 一 藿香 一 半夏

積ツカへ薬

一 紫蘇 一 香付子 一 ウヤク 一 干姜

一 甘草 一 陳皮

ノ

志ゆのつむ満し薬

一 木ノミノ花ヲ黒や記ニして同木のミ油ニて祢りて付ル

三日之内ニうむ也

是レ大妙薬ナリ

万能膏

一 モ草ヲ黒ヤキニして胡麻の油ニてとき たり

光明丹トモ

右三味絹ぎれニ而こし

乳ノタル薬又出ル薬

一 ち志やの身 とうふん

一 もち米 同

一 甘草 同

一 大黄 同

一 茯苓 同

右五ミ也

奇応丸

一 人参 苓朮

一 沈香 同

一 麝香 貳分

一 熊イ 壹分

一 金箔 十五枚

ノ 金箔之衣

万ノ目薬

△やむニよし
一 黄柏大 一 菊花大 一 紅花中 一 黄連中

一 当归中 一 とう仁少 一 白ベン少

右房包ニテ出也

こひ之薬のんどいたむとき

一木付子之粉一さし用ゆのむ

メ

口中あれデキ物出ル時 婦くミ薬

一はこべ 一山し子 一紅花 一甘草

メ四ミせんし婦くむ

メ

悪酒ヲ真ス事

△セウチウ酒老石、酒のカス老石打込、七日ホト置上テ

悪老石五斗入置也、妙ニ方也

メ

目薬さし薬

一芦眼石 三匁

一龍腦 二匁

一白ぼん 老匁

右薬之義者大のかぶらニツニわり中をくり芦かん石を入

2 古文書

幕ニ三十日すいどニ付て置ナリ

五香湯

一藿香 一木香 一乳香 一丁子 一沈香

一連翹 一甘草 一黄蓮 一黄芩 一大黄

一檳郎子 一干膝(牛) 一ヤカン

メ右八味くさむしろ乃上この五ミへくわへる也

具さ之五香

一黄蓮 一連堯 一大黄 一木通 ○メ

一檳郎子 一藿香 一木香加メ 一人参

一甘草 一加メ 一乳香 一ウコン

一丁字タメ 一紅花カメ

口中齒磨

寒水石 老匁

白檀 老匁

丁字 老匁

右等分粉ニシテ用ゆれハ妙也

屠蘇方

白朮 吉更 山升

防風老匁、肉圭 老匁

阿羅ひ粉の方

フンドウ五合 滑石一匁 白付子一匁 白檀一匁 茯苓大 忍冬大 山婦来大 大黃中 連堯大

白芷一匁 甘草一匁 里うのふ貳匁 木通大 川芎中 甘草中

丁子加へてもよし 右八味水貳合五匁入

御匂ひの方 老合五匁蒸し用

藿香一匁 白檀一匁 甘草三分 薰陸二分 万金丹 五拾目

丁子二分 志やうのふ三分 一阿仙薬 五拾目

同方 一東京肉桂 五匁

かん志やう二分 白だん二分 麝香二分 一唐木香 三匁

丁子三匁 里うのふ一匁 一丁子 二匁

匂ひのほふ 一麝香 二分

丁子十五 白檀十五 麝香 龍のふ 一龍腦 三分

甘草老匁二分 右七味極吟味致丸スベシ 一甘草 三匁

右白芷を少し入へし

鐘とき 七月時分 水銀 水九匁四分 土茯苓 貳錢

志ゆり含ゆう 志ゆり三匁五分 干姜 壹錢

四季に心得合すへし

右両手ニて携きさミ、絹ぎれニつゝミ、酢ニてよくせん

じ、あつき内ニよくあらいて妙也

付子の免んけん之時

黒大豆 甘草

右二品をせんし御用ひ、又ハ味噌をひや水ニかきたての

むべし、是もよろしきもの

むし齒の妙薬

ろくわい 丁香

右四錢中末ニしていたむはへぬり付てよし

浮石丸癩血并ニ血くわいをくたす妙薬

一桃仁 大黃 浮石カネイシ

右等分末ニして丸、一日ニ耆斗宛渡すべし

安泰湯と兼用ニして用ひ

へ

一銘神仙円 五臟補ひ第一賢薬

黄精 百六拾目

陳皮 三拾目

連肉 廿五匁

茯苓 同

2 古文書

山薬 八十匁

当帰 同八十匁

へ右六薬極末ニして蜜ニテ煉ル

蘇命丹 第一たん一切之祢り薬

干姜十匁 川芎十五匁 陳皮十匁

当帰二十匁 良姜四匁 莪朮十匁

黒砂糖百目 蜜二百目

へ右祢り薬ニ致痰ニ用ひテ神功アリ

金紅丹方

一青木葉拾三へ目ニ水耆石八斗入三斗ニ成迄煎し詰、其

内へ

一人参 耆匁

一丹参 耆匁

一丁子 耆匁

一紅花 四十匁

一甘草 四拾匁

右五味入能たく也、右三斗を又耆斗ニ成迄たき詰、かすを去り、耆斗を耆へ匁ニ成迄せんし詰、是を世間ニ而金

紅丹与申

批把葉湯

一肉桂カラ 宿砂カラ 莪朮カラ 木香青は 藿香カラ

大黃カラ 吳茱萸 丁子 批はゆうカラ 蒼朮

右極味あつき湯式度ふり出し用ひ、跡よくせんじ用ひ

龍腦丹

一川芎拾目 一宿砂廿目 一防風廿目

一吉更廿目 一甘草四匁 一薄荷八十目

右六味極細末ニして蜜ニよく祢る也

第一たんセキ一切之祢り薬也

安泰湯

一乾姜三州拾四目 一当帰式拾目 一川骨九目

一白朮唐八目 一黄芩鮮朝八目 一大黄六目

一東革京南六目 一黄連 八目 一川芎式拾目

一肉桂京東八目 一木香唐八目 一人参八目

一サフラン式目

右薬老組目方百式拾九目ヲ四拾包ニ分ツ

是等ノ薬種之中忌病之容躰ニ応し前書安泰湯本方江加味

致進シ申候

定価之外加味代取不申候

五 米田家文書

(米田徳七郎氏蔵)

一 大和国今住組薬屋組合取極連印帳

安政七年

(表紙)

安政七年二月

国中組合取極連印帳

葛上郡
今住村

一 從御公儀様兼而被為仰出候御趣意急度相守可申者勿論

南都薬種取締所方定法書之通仲間一同不作法無之様入

念可申候事

一 和漢薬種売買之儀者、夫々定法有之候处、近来組合内

ニ定法取崩、纔之近薬者至而下直致シ、素人分り兼候